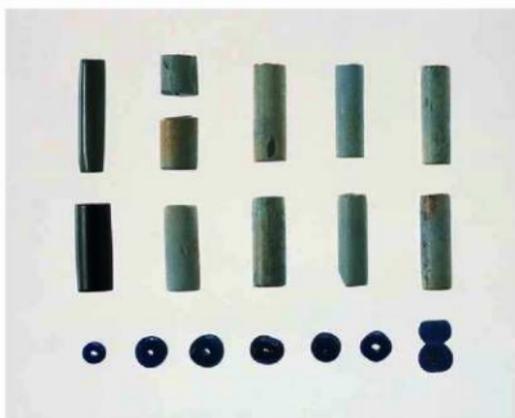


原 色 図 版





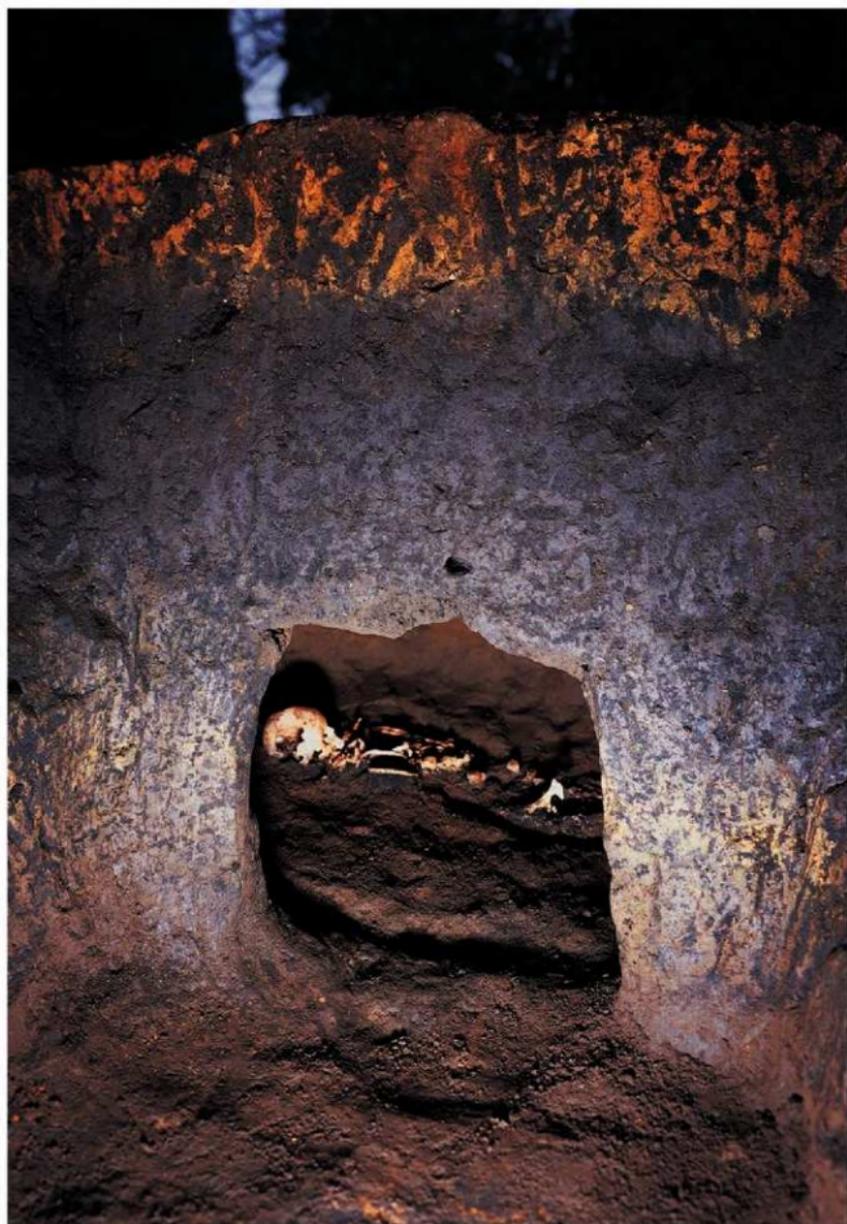
出土人骨及び副葬品配置の状況
(西から)



出土の玉類



装着状況を復元した玉類



羨門から玄室を望む（南から）

版 圖



調査地



三財川下流域付近から
九州山脈を臨む（東から）

調査地



調査地上空付近（東から）

調査地近影（東から）





玄室天井部の陥没直後の状況（西から）



陥没直後の玄室内部の状況（北から）



1号・2号竖坑検出時の状況（北西から）



竪坑埋土の状況(南から)



竪坑の床面形成土(南から)



竪坑の足掛けステップ(北西から)

図版四
1号地下式横穴墓(三)



貼り床面を残した竪坑検出状況（西から）



貼り床面除去後の竪坑検出状況（南から）



玄室内の人骨および副葬品出土状況(西から)



人骨取り上げ後の副葬品配置(西から)



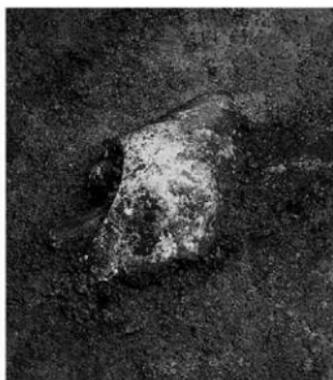
鉄刀、玉類、ゴホウラ製貝輪の出土状況（西から）



取り上げ後の鉄鐵塊



玉類の出土状況（西から）



上腕骨に装着されたゴホウラ製
貝輪の出土状況（西から）



玄室内右袖側壁面の掘削痕跡（南から）

竪坑埋土の状況(南から)



竪坑の検出状況および羨門の閉塞石(南から)



閉塞石および玄室内崩落土の右半部除去後の状況(東から)





全景（南から）



玄室検出状況（南東から）



頭蓋骨の出土状況(南東から)



刀子の出土状況および赤色部分
(南から)



玄室内部右袖側の掘削痕跡(東から)



竪坑検出時の状況（南西から）



竪坑内部の遺物状況（北東から）



同上近影（北東から）

竪坑埋土の状況（南東から）

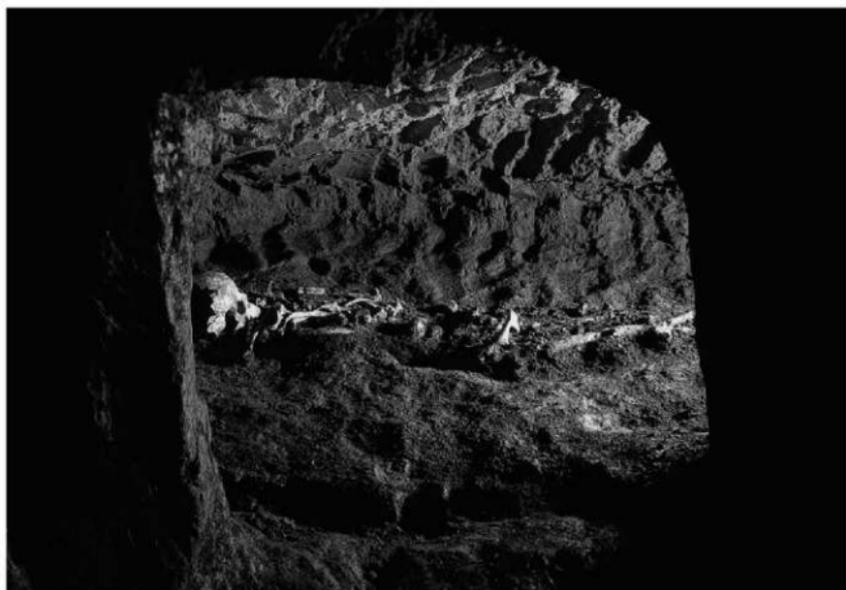


竪坑埋土の玄室内部への
流入状況（南西から）

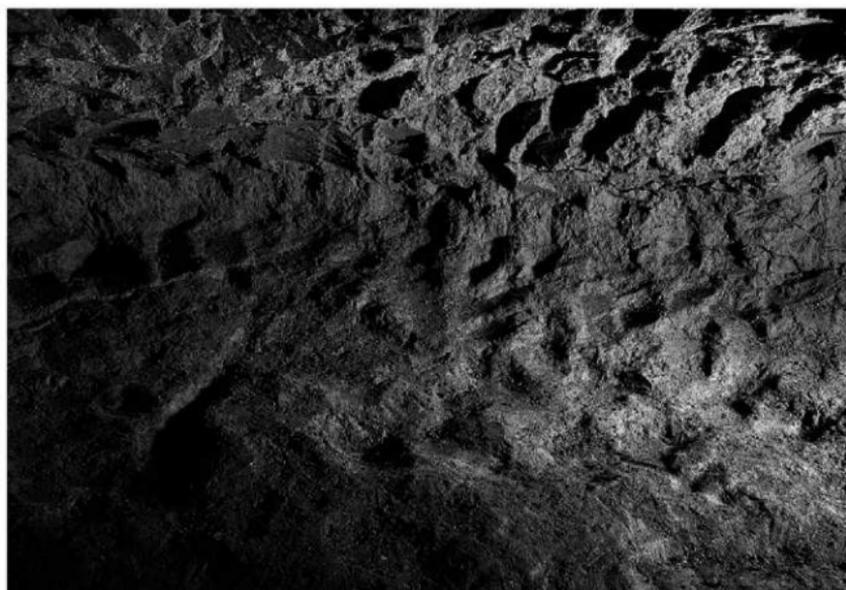


竪坑検出状況（南から）





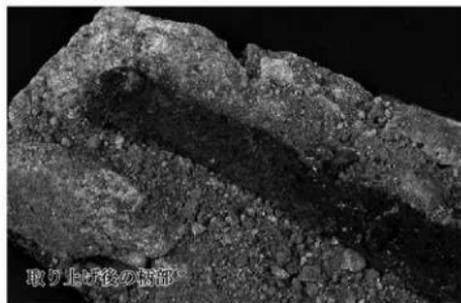
人骨の出土状況（南から）



玄室内壁面および天井部の掘削痕跡（南から）



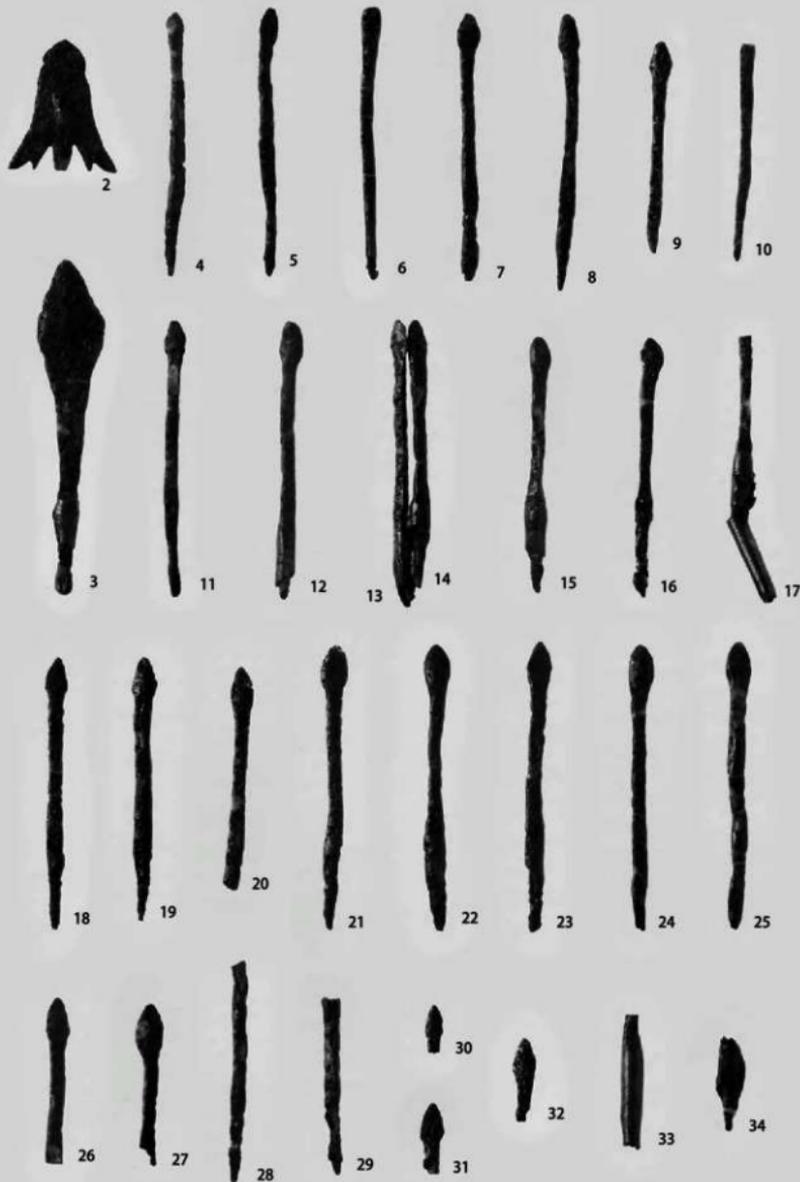
取り上げ後の側面

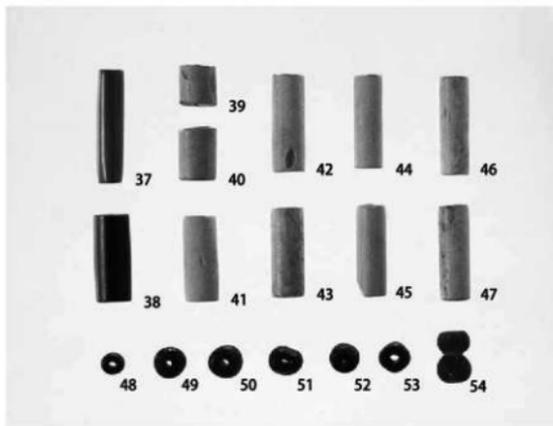
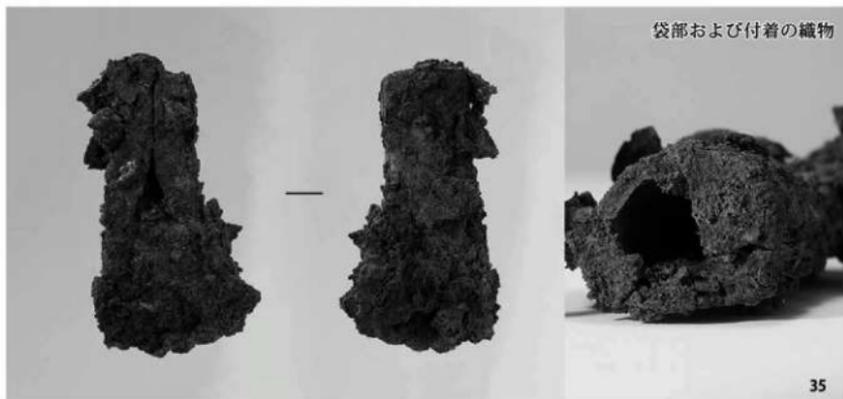


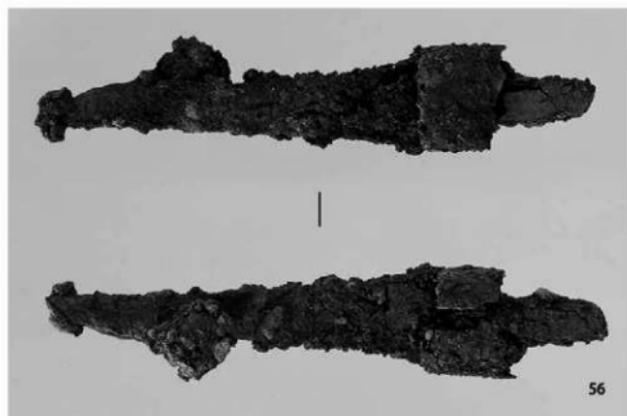
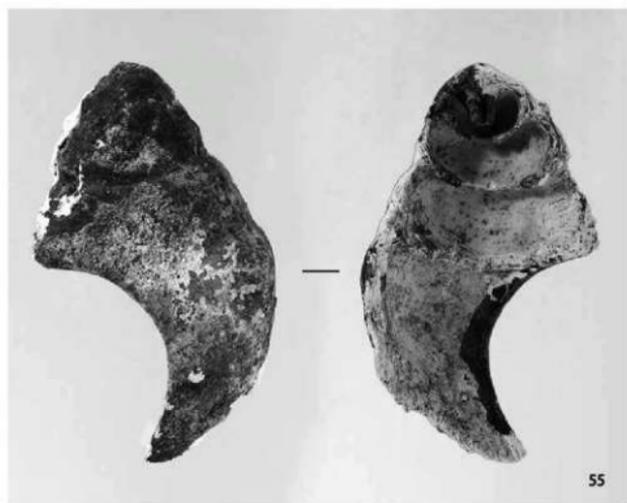
取り上げ後の横切面



新製金具と錆止め







報告書抄録

ふりがな	もみきちかしきよこあなぼくん							
書名	朽木地下式横穴墓群							
副書名	国営綾川二期農業水利事業既設管処理その3-1工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書							
シリーズ名	宮崎県埋蔵文化財センター埋蔵文化財発掘調査報告書							
シリーズ番号	第191集							
編著者名	二宮 満夫							
発行機関	宮崎県埋蔵文化財センター							
所在地	〒880-0212 宮崎県宮崎市佐土原町下那珂 4019 番地 TEL 0985-36-1171							
発行年月日	西暦 2010年2月26日							
ふりがな 所収遺跡	ふりがな 所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡番号					
朽木地下式横穴墓群	宮崎県東諸県郡 国富町大字八代 北俣字上ノ原 3642-62	453820		32度 03分 54秒 付近	131度 17分 51秒 付近	2009.12.01～ 2009.12.26	約50㎡	国営綾川二期農業水利事業既設管処理その3-1工事に伴う調査
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物		特記事項		
朽木地下式横穴墓群	墓域	古墳時代	地下式横穴墓 3基	1号地下式横穴墓 鉄刀、鉄鏃、鉄斧、玉類 ゴホウラ製貝輪		被葬者の伏臥伸展葬 照内4例目のゴホウラ製貝輪の出土		
				2号地下式横穴墓 刀子		大きく開口する羨門から短い羨道を介した、平入りで天井の低い玄室形態		
				3号地下式横穴墓 土師器環		玄室内から行われた羨道閉塞の可能性		
要約	<p>朽木地下式横穴墓群は、九州山地の裾部に張り出した段丘面上に造営された古墳群である。同一段丘面において初出の墓群であり、今回の調査で3基の地下式横穴墓を検出した。当該墓群の立地が、児湯地域と諸県地域を結ぶ陸上交通路の出入口にあたることから、多様な文化が享受されてきたと考えられる。</p> <p>1号墓は、単体で埋葬された熟年男性が伏臥伸展葬であったことが特筆される。副葬品として、鉄刀、鉄鏃、鉄斧、玉類、ゴホウラ製貝輪が玄室内から出土し、5世紀末葉の築造時期が考えられる。</p> <p>2号墓は、1号墓の東に近接して造営される。大きく開口した羨門から短い羨道を介する天井の低い平入りの玄室形態は周辺では珍しい。老年男性が単体で埋葬されており、副葬品として玄室から刀子が出土した。築造時期は6世紀中葉頃を想定している。なお、1号墓と2号墓の被葬者は、親子あるいは兄弟である可能性が示唆されている。</p> <p>3号墓では、玄室入口に設けた溝の存在から、木板などをめ込むことで玄室を内側から閉塞したと考えている。若年女性が単体で埋葬され、壙坑から土師器環が出土した。築造時期については、6世紀初頭を考える。</p> <p>朽木地下式横穴墓群の調査成果は、周辺域の土地利用の領域、造墓、葬送の形態などで新知見を提供するに至った。</p>							

宮崎県埋蔵文化財センター発掘調査報告書 第191集

靱木地下式横穴墓群

国営綾川二期農業水利事業既設管処理その3-1工事に伴う
埋蔵文化財発掘調査報告書

2010年2月26日

発行 宮崎県埋蔵文化財センター
〒880-0212 宮崎市佐土原町下那珂 4019 番地
電話 0985 (36) 1171

印刷 株式会社イースト朝日 宮崎支店
〒880-0123 宮崎市芳土字中原 590-1
電話 0985 (62) 5055
